

記入要領

前半期分申請は4月1日現在、後半期分申請は10月1日現在の状況を記入する。
ペンまたはボールペンで記入し、訂正する場合は二本線を引き、修正液は使用しないこと。
※ 摩擦により文字が消せるペン(フリクションペン等)での記入は認められません。

所属の学部・学科（研究科・専攻・課程）及び入学年月を記入する。

主たる家計支持者（父母（父母ともいない場合は、祖父母等））が、無職または失職中の場合は、いつからその状況にあるのか、生活費をどのように賄っているのかを記入する。

休学歴がある場合は、休学期間と休学理由を記入する。

2022年度前半期分の授業料免除の状況に
チェック✓をする。

申請前の激甚災害被災の有無 に
チェック✓をする。

[illegible]

学生番号を記入する。

提出年月日を記入する。

前半期分申請は4月1日現在
後半期分申請は10月1日現在
の学年を記入する。

授業料の支払いが困難である事情や家庭状況について、具体的に詳しく記入する。

【学部生のみ】日本学生支援機構の給付奨学金について、○を付けること。虫讀要領15・16ページを参照の上、所定の書類等を添付すること。（旧給付奨学生とは、2019年以前入学者が対象の給付奨学金制度を指します。）

「申請していない」方は、新制度シミュレーションの結果（又は「支援なし」のいずれか）に、○印をつけてください。

本人の現住所と連絡先
及び家族の住所と連絡先
を記入する。

申請結果を通知する封筒の送付先
を選択する。

家庭状況調査書 記入要領

(様式 1-②)

本人	通学区分	※115 1: 自宅 2: 自宅外		前年度奨学金受給額(千円)	※117
	奨学金受給状況	2022年度	2021年度	大学認定欄	記入しない。
就学者 (高校生以上は在学証明書を提出のこと)	続柄	氏名(年齢)	設置区分	学校種別	通学区分
	兄	岡大 冬男 (21才)	1: 国立 2: 公立 3: 私立	4: 大学 1: 小学校 2: 中学校 3: 高校 5: 高等専門学校 6: 専修学校高等 7: 専修学校専門	1: 自宅 2: 自宅外
	妹	岡大 花子 (18才)	1: 国立 2: 公立 3: 私立	4: 大学 1: 小学校 2: 中学校 3: 高校 5: 高等専門学校 6: 専修学校高等 7: 専修学校専門	1: 自宅 2: 自宅外
特別 除 関係	母子・父子世帯	状況	左欄の状況となった時期		201
	障がい者のいる世帯	続柄	障害者手帳等の番号	障害年金の有無	該当者
	長期療養者のいる世帯	続柄	療養期間	療養費年額(円)	年額合計(千円)
	火災・風水害等の被災世帯	被災年月日	被災内容	被害額(円)	213
大学 認定	家族数	独立生計	生活保護世帯	学力	申請区分
	218	221	222	223	224

自宅通学者 及び 独立生計者は、「1: 自宅」
親戚宅に住む者についても、「1: 自宅」
アパートや寮を借りて生活する者は、「2: 自宅外」

当年度受給する奨学金(予約採用を含む)と、昨年度に受給した奨学金の両方について○印を付ける。
(複数回答可)

【日本学生支援機構の奨学金】
貸与・給付それぞれの受給金額を記入する。

【その他の奨学金】
貸与か給付に○を付け、名称および金額を記入する。

【就学者】 ページ下段を参照のこと

兄弟等が岡山大学に在学の場合：
学部(研究科)及び学生番号を併記する。
※ 兄弟等が独立生計の場合は、欄外へ、その兄弟の
学生番号、氏名を記入すること
(この欄へは記入しないでください。)

父又は母が死亡・生別の場合：
死亡・生別の父又は母を「就学者を除く家族」欄に
記入の上、この欄にも記入する。

障害者手帳や医師の証明により記入する。

長期療養者：申請時現在治療中で6か月以上の療養
期間を要すると認められる方

長期療養費(特別除)の希望がある場合は、病院・施設・薬局等に願ひ出て「療養費証明書」(様式10)に記入
をしてもらい、証明を受けたものを提出する。
「療養費証明書」(様式10)での証明を受けられなかった
場合は、自身で「療養費証明書」の所定欄に記入をし、
「診断書」(様式10-①)又は 要介護認定通知(写)等
(原本)と領収書(写)等を併せて提出する。

※ 特別除(「長期療養者」)に記入がある場合は、前後
半期一括申請の対象とはなりません。

授業料納期前1年以内に風水害等の災害を受け、前年分確定申告で雑損控除の申告をした場合には、その雑損控除額を世帯の総収入金額から特別控除できます。特別控除を希望する場合は、できる限り確定申告を行ってください。

確定申告を行わない場合は、住宅や家財等について、災害により発生した修理費等を証明する領収書(写)等が必要となります。保険・損害賠償等で補填された場合は、控除金額から除きます。(修理費等の全額が控除されるわけではありません。)

政府が指定した大規模・広範囲な災害(激甚災害)により被災をした世帯については、災害から1年以内の免除申請においては1,600,000円、被災から1年を超えた免除申請においては、被災状況が半壊以上であった世帯について、当該免除申請より前1年に支出した修繕費等に相当する額が控除されます。(できる限り確定申告を行ってください。)

※ 「令和2年7月豪雨」、「平成30年7月豪雨」等により、家計支持者が被災し、被災状況が半壊以上であった世帯については、家計評価額の算出において、特別控除により、総収入額を控除します。

【就学者】とは、

小学校・中学校(特別支援学校を含む)、高等学校(通信制・専攻科・別科を含む)、高等専門学校(専攻科を含む)、大学(大学院・別科・専攻科・通信教育部を含む)及び専修学校(高等課程・専門課程)に在学している方をいいます。

水産大学校、農業大学校、職業能力開発大学校、防衛大学校等、専修学校生(一般課程)、研究生、科目等履修生、補習科生、「各種学校」に分類されるもの(予備校・語学学校等)は就学者に該当しません。

ただし、専修学校(専門課程)の認可を受けている農業大学校は就学者に該当します。

※ 前半期分を申請する場合、3月卒業(見込)及び4月入学(見込)の兄弟姉妹等に注意すること。

※ 4月の状況が未定の場合は、見込みの状況を鉛筆書きにし、決定後速やかに届け出ること。